

令和六年度入学試験問題（後期日程）

小論文

人文社会学部 国際法政学科

注意事項

- 一、受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
- 二、解答は必ず解答用紙に記入すること。
- 三、解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
- 四、設問は二問ある。それぞれ指定された面に解答すること。
- 五、解答時間は、一二〇分である。
- 六、縦書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問題

「逆差別」論に関する次の文章を読んで、各問に答えなさい。

問一 「逆差別」論にはどのような問題が存在していると、著者は主張していますか。四〇〇字以内で説明しなさい。

問二 「逆差別」論については、大学の入試選考で黒人などのマイノリティを優遇する措置が法の下での平等を定めた憲法に違反するという判断を二〇二三年六月に米連邦最高裁判所が下すなど、さまざまな見解や立場が存在します。あなたは「逆差別」論についてどのように考えますか。主張の根拠を明らかにしながら六〇〇字以上八〇〇字以内で論じなさい。

非公開

非公開

（大森一輝「差別と「逆差別」は同じ差別なのか？——誰が誰をどのような力で抑圧しているのかを見極める——」兼子歩・貴堂嘉之編著『「ヘイト」に抗するアメリカ史——マジョリティを問い直す』彩流社、二〇二二年、二四～三九ページ、抜粋・一部改変）

〔注釈〕ブラック・ライフズ・マター…二〇二〇年五月、アメリカで黒人男性が白人警官から暴行を受けて死亡した事件に端を発し、世界的に広がった抗議運動の中で多く使われている表現。もともとは二〇二二年二月にアメリカで黒人少年が白人警官に射殺された事件を機に、SNS上で抗議の輪が広がった際に象徴的に使われたもの。

令和六年度入学試験問題

小論文

人文社会学部 国際法政学科

出題の意図

この小論文の出題意図は、受験生が社会科学系の学問を学ぶ上で必要となる、現代社会が抱える課題に対する関心・知識、理解力、分析力、他者への説明能力をどの程度持っているかを見ることである。

問1は、文章の説明を分析的に抽出できるかどうかを求めている。これは本学科のアドミッション・ポリシーである、人間社会や社会科学への深い関心を持ち、大学における人文社会分野の学びの土台となる基礎的な力を有しているかを問う出題である。

問2は、文章の内容を踏まえた上で、自分自身の考えを根拠を持って論理的に説明することを求めている。これは本学科のアドミッション・ポリシーである、柔軟かつ総合的な思考力を持ち、主体的に学ぶ意欲を有しているかを問う出題となっている。